

中国人留学生が日本で見たもの

著者：楊 毅 Yi YANG

〈国立天文台 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1〉
e-mail: yi.yang@nao.ac.jp



和訳：吉田 二美

〈天文月報編集委員会〉

私はまだ日本に来てから6カ月ですが、多くのことを経験した気がします。国立天文台で研究しながら日本のいくつかの都市を旅行しました。日本での生活はとても楽しく、研究以外にも、日本と日本文化を勉強していきたいと思います。以下に私の日本での経験を紹介します。

你們好！ 日本の皆さん

私は去年の10月に日本に来ました。およそ6カ月日本に住んでいます。まだ6カ月しか住んでいないので、わからないことばかりですが、私の短い経験の中から、特に印象深いことを書いてみました。

私は楊毅です

最初に自己紹介したいと思います。私の名前は楊毅と言います。出身は中国です。日本に来て、国立天文台の大学院生になったのは全くの偶然から始まりました。インターネットで、私が研究したいと思っている分野に近い教授が国立天文台にいることを知って、軽い気持ちで連絡してみました。連絡したのは田村元秀先生（現 東京大学教授）です。先生は、親切に返事をくださり、総研大の大学院入試のことを教えてくださいました。私はまず国立天文台を見たいと思いました。最初に国立天文台に来たとき、ここがたいへん自然環境に恵まれていることを知りました。そして実際にお会いした田村先生はたいへん優しい先生でした。国立天文台はいくつもの国際プロジェク

トを推進しており、ここで最先端の天文学を学ぶとても楽しいだろう、そして、私の人生が豊かになるだろうと思いました。こうして国立天文台に行くことにしました。

銀河系の連星系の惑星を狙います

大学時代には天文学を専攻しました。私は天文学のほか、生物学も好きでしたので、生物学のコースの授業も受講しました。地球外生命、特に太陽系外生命探しに興味があったのです。ですから、研究課題は系外惑星を選びました。私の最初の研究は、地球型惑星の大気の性質の理論的研究でした。惑星の大気の性質は、惑星の居住可能性にとって大切ですから、この研究はとても重要です。

さて、国立天文台での私の研究が始まりました。研究課題は、望遠鏡を使って太陽系外惑星を探すことです。大学時代に太陽系外惑星探査の知識はいろいろと習ったつもりでしたが、まだまだ知らないことがいっぱいです。これから銀河系の連星系に惑星を探そうと思います。連星系での惑星形成は太陽系での惑星形成と全く異なるはずですし、形成過程は現在のところ全くわかっていません。良い研究結果を出すために、私は必ず頑張

ります。

私はそばが好き。日本人は桜が好き

私の日本の印象ですが、日本の物は、車とか、建物とか、中国の物よりずっと小さいと思います。また日本の町はとても綺麗だと思います。日本へ来る前に、日本のアニメの会話を聞き取るために、1年間日本語を勉強しました。それで簡単な日本語はしゃべれるようになりましたが、もっと日本語の勉強をしなければならないと思います。日本料理と中華料理は大体似ていますので、食べ物に関しては全く問題がありません。すぐに日本の食べ物に慣れました。日本のさまざまな食べ物の中で、最もおいしいと思ったのは「そば」です。

6カ月の間に東京都以外の都市へも行きました。今年の春節（中国のお正月）には横浜の中華街へ行きました。この場所は日本ばかりでなく中国でも有名です。ここで、関帝廟と媽祖廟に参って、お店でいろいろなお菓子を買いました。それから、近くの山下公園へも行きました。港ではカモメが空を飛んでいたり、海に浮かんでいたり、とてもきれいな景色でした。

総研大セミナー2013の打ち合わせのために、名古屋へも行きました。新幹線からこのとき初めて富士山を見て、とても感動しました。この打ち合わせには、日本人だけでなく外国の学生も参加していました。総研大セミナー2013を有意義にするためのさまざまなアイデアが得られました。名古屋滞在中に名古屋城と熱田神宮にも行きました。日本の旅行は面白いです。今度は京都へ行くつもりです。京都は昔の日本の首都ですから、町に古い建物がたくさんあると聞いています。日本の文化を学ぶために京都詣が必要ですよ。

この春、桜の時期に、国立天文台で花見をしました。花見は、とても日本らしい習慣だと思います。桜の木の下で、食事をしたり、話したり、日本人は本当に桜が大好きなんだと思いました。井



研究グループのメンバーと一緒に花見をしました。
(国立天文台にて)

の頭公園でもたいへん大勢の人が花見しているのを見て驚きました。日本人は、本当に、本当に、桜が大好きなんです。

日中友好のために

6カ月間日本の皆さんの中で暮らしてみて、日本を理解していない中国人が多いと思いましたし、中国を理解していない日本人も多いと思いました。私のこれから5年間の日本滞在の間に、日本や日本文化をもっと理解して、中国に帰ったら、日中友好のために何かできることをしたいと思います。

A Chinese Student's Brief View of Japan YI YANG

National Astronomical Observatory of Japan

Abstract: Six months is quite a short period, however, I have experienced much during these past months. I am now doing my research in NAOJ. And I ever visited Japanese cities, attended local activities here. These experiences are quite enjoyable and motivate me to learn more about Japan and Japanese culture. Then, I will share my experience in this country as a newcomer's view in the following article.